

令和6年度 海外インターンシップ報告書

実習期間	令和6年9月4日(水)~9月11日(水)	7日間
実習企業	株式会社南信精機製作所	
実習地	ベトナム・ビンズオン省	

1. 実習目的

Chapter1 purpose

海外で働くことのメリット・デメリットを見つける。
将来の職業の選択肢として適性があるか見極める。

2. 実習先概要

Chapter2 summary of company

南信精機製作所は、主に車載用電子部品などの精密部品の生産を手掛けており、高品質な製品を提供するために最先端の技術を活用しています。創業以来、信頼性の高い製品作りと技術革新に取り組み、国内外の顧客に貢献しています。

また、発注されたものを、自社内で設計、量産を一貫して行えることが強みの一つです。日本、香港、中国、ベトナムに拠点を抱えています。

3. 実習日程

Chapter3 schedule

9月4日: 中部国際空港からタンソンニャット国際空港移動、ビンズン市内見学
9月5日: 会社概要説明、部品組み立て実習
9月6日: 部品組み立て実習、Yakult Vietnam 様訪問
9月7日: ホーチミン市内見学
9月8日: ホーチミン市内見学
9月9日: モータ部品組み立て実習
9月10日: モータ部品組み立て実習、外観検査体験、空港移動
9月11日: 帰国

4. 実習内容

Chapter4 laboratory

9月4日は、タンソンニャット国際空港到着後ビンズン市内に移動し、ホテル周辺の建物や店を案内していただきました。ビンズン市内は日本の東急と、ベトナムのベカメックス社の共同会社「ベカメックス東急」が主に開発しています。HIKARI、MIDORIPARK、SORAgardens というエリアを開発しており、ベカメックスホテルは HIKARI に属しています。周囲には、日系、韓国系、ベトナム系の飲食店が立ち並んでいました。物価は日本の1/2程度であると感じました。また、ベトナムは、味付けが全体的に甘い印象でした。

9月5日は、会社概要(2. 実習先概要参照)を説明していただいた後、成形現場で部品の組み立ての体験をさせていただきました。2種3つの部品から手作業で組み立てをしました。バイクメーカーの部品に使われるそうで、不良品を作らないための細かなマニュアルや、外観検査項目が徹底されていました。

9月6日のYakult Vietnam 様の訪問では、ヤクルトの生産現場を見学させていただきました。材料投入、洗浄、容器製造、パッキング等の自動化が進んでおり、規模に対し

て、働いている人が少ない印象を受けました。

9月7日、8日は、ホーチミン市内で、クチトンネル、ホーチミン像、統一会堂、ベトナム市場などを見学しました。クチトンネルは、ベトナム戦争の主戦場になった全長200kmに及ぶ地下トンネルで、落とし穴や、トラップなどが仕掛けられ、アメリカ軍を悩ませたといえます。実弾射撃も行わせていただき、その発砲音に、強力な耳栓をつけていながらも圧倒され、戦時中の情景がリアルに思い浮かびました。長時間にわたってこの音を聞き続けるため、納得しました。また、ホーチミン像周辺では商業ビルが立ち並ぶ中、隣の人声が聞こえないほど大きな音量で音楽が流れており、大量のレーザー光線で街を照らしていました。大都市でこのようなことができるのは、発展途上国だからこそだと感じました。

9月9日、10日は、モータの部品(整流子)の組み立てを体験しました。細かい作業で、同じ作業が続くため、とても大変でした。受注ロット数が少ないため、ロボットよりも人間が作ったほうが経済的だと聞きました。普段何気なく使っているモータは、工場で働く皆様のおかげなのだと改めて気づくことができました。

また、帰国日の11日は機内で若いベトナム人が多い印象を受けました。彼らに話を聞くと、「日本に来て働く」、「家族に送金するために働くにいく」などと輝かしい目で話されていました。平均給与が3倍にもなる日本に来て貯金分をベトナムに送金するのは合理的で、この傾向が続けば、対外資産をドンに変える動きが強まり、物価上昇につながる可能性があると感じました。日本人も同じで、より給与が高い国で働くことで、より生活が豊かになると改めて感じました。

5. 実習の成果 (成長した事)

Chapter5 result

製造現場の前提知識が多く身についたので、帰国後も製造の職業の方とお話をするときにスムーズに的確に話し合いをすることができました。また、外観検査や、組立作業が大変だったので、それをどう機械化していこうかと、機構を考えるきっかけになりました。

ベトナム人の習慣、文化に触れたことで、自国の考え方が全てではないと感じました。例えば、ベトナム仕事中に明らかに業務とあまり関係ない話をしたら、日本は不適切な行為とされる傾向にあります。しかし、あるベトナム人は「単純作業は眠くなるから、おしゃべりして面白い話をしているんだよ。そのほうが捗るよ」と教えてくれました。実際、私も社員さんと適度に会話をしながら作業したことで圧倒的な生産性の向上を確認できました。日本の考え方が当たり前ではないのだとわかったことは将来のアドバンテージだと思います。

6. 今後の課題

Chapter6 problem

今後の課題は2つあります。言語能力と、広い視野です。現地の人に現地語で話しかけると喜んでくれ、簡単に仲良くなれることを知りました。英語のみならずたくさんの国の言語を少しでも習得していきたいです。

また、今回ベトナムで広い視野を身につけることができましたが、今後ともたくさんの国を訪問し、価値観や視野を広げていきたいです。

7. 海外インターンシップに行こうか迷っている学生に一言

Chapter7 Advice

比較的費用を抑えて、国外の「景色」を見られるチャンスです。留学や、旅行では味わえない体験がここです。ぜひ参加してみてください！

南信精機製作所の皆様には大変お世話になりました。実習現場のみならず、航空券、ホテルのご手配や、様々なお心遣いをいただきました。

見学中にも、様々な角度から説明してくださり、旅行で見学するよりも何倍も濃い内容になりました。今後は、この経験を活かし、しっかりと進路選択を進めてまいります。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。